RWPE-1

305217

□要

□明

RWPE-1□胞株は、前立腺癌の所見がない54歳の白人男性の前立腺上皮に由来し、生物医学研究、特に前立腺の生物学と癌の研究において貴重な資源である。付着増殖特性と典型的な上皮形態を特徴とするこれらの上皮 □胞は、レチノブラストーマタンパク質を不活性化し □胞の不死化を促進するヒトパピローマウイルス 18（HPV-18）由来のE7遺伝子を持つ複製欠損レトロウイルスを用いて不死化された。
正常なヒト前立腺に由来するRWPE-1□胞は、前立腺がん研究に利用されているが、そのアンドロゲン受容体発現は、特に腫瘍性の前立腺がん由来□胞株と比較すると、比較的控えめである。上皮□胞株RWPE-1は、サイトケラチン8と18を発現しており、上皮系であることを裏付けている。RWPE-1□胞は、p53やpRBのような腫瘍抑制因子を発現しており、非腫瘍原性の性質を反映しているが、カリクレイン 3（KLK3）やPSAのような前立腺特異的マーカーの発現は、標準的な培養条件下では一般に低いか存在しない。
マトリゲル中で形成されるような3D培養では、ヒト□胞RWPE-1は、正常な前立腺構造を思わせるアシナー構造に組織化することができる。アンドロゲン刺激に対するPSA（前立腺特異抗原）の分泌に関しては、 RWPE-1□胞は前立腺がん□胞株と比較して、あまり顕著な反応を示さない。従って、RWPE-1□胞は正常前立腺上皮□胞のベースライン特性を理解するための貴重なモデルとなる。
RWPE-1の非腫瘍原性の性質は、転移性前立腺ガン □胞や前立腺ガン発生を含む、腫瘍原性形質転換への移行やガン □胞の動態を研究するモデルとして役立つ。培養条件に EGFや成長ホルモンのような因子を含めることで、前立腺肥大症や前立腺がんへの進展に関与する経路をさらに解明することができる。要約すると、RWPE-1□胞は、前立腺□胞株における前立腺癌の発生から前立腺癌患者におけるその発現に至るまで、前立腺癌の包括的な理解を促進する。

ティッシュ	前立腺

同義語

- RWPE1

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮
細胞の種類	前立腺上皮□胞

核型

RWPE-1□胞は2倍体の染色体を持っており、45,X,-Y,51,XYのような染色体変異を示す。

識別子

引用

RWPE-1 (Cytion カタログ番号 305217)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_3791

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

取り扱いと飼育

培地

K-SFM（弊社では取り扱っておりません。ご不明な点がございましたらご連絡ください ）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に0.05mg/mL BPE ′ 5ng/mL EGFを補充する。培地は完全に濾過してはならない。 BPEとEGFを10mLに添加し、滅菌濾過後、この混合物を培地に混ぜる。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	54年
民族	白人

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB